

会長指針

繋 ロータリーを感じよう

会長（理事） 森田 晴夫
（医療機器製造販売）

今年度は京都東ロータリークラブの創立65周年に当たります。自他共に「伝統と格式のある」と認める歴史を持つクラブの会長というバトンを受け取った重責を感じながら精一杯がんばって参りたいと思っております。伝統ある老舗も受け継がれたタレに継ぎ足しながらも、少しずつ変化をしながら歴史を積み重ねてきています。ほんとうは創業時の味とは全く異なった味に変わっているかもしれませんが、その「お店らしさ」はそれぞれの代が工夫しながら引き継いで歴史を積み重ねています。私も会員のみなさまにアドバイスをいただきながら、時代に合わせた変化を付け加えて行きたいと思っております。どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

さて、2020-21年度国際ロータリーの会長テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いている」という説明がありますが、積極的に考えれば「私たちはクラブ内外にさまざまなチャンスを提供できることを自覚しよう」ということでもあると思います。ロータリークラブに所属しているからできること、素晴らしい会員が集まっているから可能なことがたくさんあり、それが人生や地域社会を豊かにすることを私たち自身が認識し、行動に移すことによって、京都東ロータリークラブは独自のプライスレスな価値を内外に提供できる魅力的なクラブの文化を未来に繋いでいけるものと思います。

そこで今年のクラブのテーマとして「繋」、方針は「ロータリーを感じよう」を挙げさせていただきました。急速に環境が変化する中でさまざまな面においてみんなが力を合わせ、今まで以上に人と人が繋がるのが大切になってきています。またクラブとしてもより地域との繋がりを強め、京都東ロータリークラブだけでは難しい社会奉仕活動に結びつけていきたいと考えています。そしてただ集うだけでなく、体験型の活動やイベントを通じて会員および地域社会のみなさんに、ロータリーの素晴らしさを「感じて」いただける機会を提供していきたく思います。ロータリークラブの会員数減少対策として規定を緩和することが論議されていますが、クラブ自体をより魅力的なものとし、会員自身が魅力を感じ、心より楽しむことによって、自信をもって多くの方々をお誘いできることにも繋がるのではないかと期待しています。新しいアイデアもみなさまのご協力が無ければ実現は不可能です。一年間どうぞよろしくお願いたします。